

## 未来の北海道を支える理系人材の育成に向けて

北海道の産業を取り巻く環境は、デジタル化やGX、先端技術の進展により、大きな変化の時期を迎えております。

就業構造推計では、2040年に就業者数が約50万人減る一方、労働需要としては約40万人が不足し、多くの職種で人材が足りなくなる可能性が示されています。こうした中、ほぼすべての産業でAIやロボットなど先端技術を使いこなせる人材の必要性が、今後さらに高まると見込まれております。

このような状況の中、地域の成長をしっかりと支えるためには、地域産業を担う理系人材の育成がこれまで以上に重要となっております。

こうした将来の担い手を育てるには、高校・大学での専門教育はもとより、小中学生の段階から科学技術の楽しさに触れ、「面白い」「不思議だ」「もっと知りたい」と感じる体験の積み重ねが必要です。

こうした学びを子どもたちにとってより身近で継続的なものとするためには、日頃から子どもたちの成長を見守る保護者の皆さまに科学技術といった理系の世界を身近に感じていただくことが大きな力となります。家庭で少しでも科学技術が話題となることで、子どもたちの関心は大きく膨らみ、将来の挑戦へとつながってまいります。

さらに、この取組を地域全体で力強く進めるには、企業経営者の皆さまの積極的な関与が不可欠です。教育の場への関心を示し、社員の皆様の参加を後押しし、企業の価値観や技術力を子どもたちに伝えていただくことで、学びはより深く、現実味を帯びたものとなります。経営者の皆さまの姿勢そのものが、地域の未来を支える人材育成を力強く牽引し、北海道の未来を創る重要な原動力となります。

加えて、自治体には学校・企業・地域団体をつなぎ、学びの連鎖を広げていく重要な役割が期待されています。

北海道経済産業局は、企業、教育機関、自治体と力を合わせ、「北海道の未来を支える人材を、地域全体で育てる」という強い決意のもと、理系人材育成の取組を一層推進してまいります。

北海道の未来を形づくるのは、遠い将来の誰かではありません。

次の世代を育てる“今この瞬間”の行動です。

皆さまには、未来をともに創るパートナーとして、本取組への一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

令和8（2026）年3月

北海道経済産業局長 浦田 秀行